

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
世代を越えて心豊かに支え合う北部東校区	思いやりの輪を拡げる優しいまち	高齢者・障がい児（者）に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の孤立防止と社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が孤立し、地域とのつながりが希薄化している。 高齢者数に比べ支援者が少ない。 高齢者の情報不足 免許返納後の買い物や移動手段がない 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に対し、日頃からの声掛けや地域の各種団体との連携した取り組み 地域行事への呼びかけと周知を行う 地域住民による支え合い活動を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい・いきいきサロンの活用 認知症声掛け訓練の実施 支え合い型サービスの検討 家族介護者の集いとの連携 「ささえりあ」と連携した事業展開 認知症サポーター養成講座の開催 障がい者相談支援センターとの連携事業 茶話会の立ち上げ支援
			<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者に対する理解 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者の増加 認知症世帯の情報不足 認知症高齢者に対する理解不足のためどのように対応しているのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症についての正しい理解を図る取組を行う。 家族と地域が連携した見守り活動 相談機関と連携した取組を検討する。 	
			<ul style="list-style-type: none"> 障がい児（者）に対する理解 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児（者）の実情が把握できない。 障がい児（者）の家族や本人が地域との接触・つながりを避ける傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児（者）に対する正しい理解を深めるための研修会の開催 地域（町内）における情報の共有 	
			<ul style="list-style-type: none"> 障がい児（者）の孤立防止と社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 家族以外に支援者がいない。 障がい児（者）の対応の仕方がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と障がい児（者）とその家族が交流できる場の提供 	
	みんなで見守り地域で育てるまち	子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> 子ども、子育て世帯の情報把握と支援 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯が相談できる場所が少ない。 子育て世帯が地域行事に参加する機会が減少している。 個人情報保護により子育て世帯の情報共有が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 学校との情報共有 日頃から声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、サポーターと連携した事業 子ども見守り隊の継続と充実 子育てサークルとの連携 北部東子育て応援隊との連携 子ども会と連携した取組み 学校との連携強化 あいさつ運動の実施 子ども食堂の支援と広報活動 民児協の赤ちゃん訪問の支援
			<ul style="list-style-type: none"> 子ども、子育て世帯の交流と見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯の近所付き合いが希薄 子ども会の減少 地域内に子どもが遊べる場が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの近所付き合い 保護者と子どもが参加できる交流会の場を設ける。 	
	みんなで助け合う優しいまち	災害・防災	災害時の避難支援	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者等の実態把握が困難であり、情報共有が不十分 要援護者に対する連絡と誘導等の支援体制が不十分 町内放送が聞こえない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の各種団体等（民生委員と自治会等）との協議の場を設ける 要援護者の実態把握（情報共有）と避難支援体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者名簿作成の支援 ハザードマップ等の活用 自治会単位の自主防災クラブの体制強化と効果的防災訓練の実施 校区防災連絡会と自主防災クラブの連携訓練 避難所運営に関する研修会の開催 消防団との連携強化
			地域住民に対する意識づけ	<ul style="list-style-type: none"> 災害時にどこに避難するかわからない住民が多い 避難経路が確認できていない（避難先とルート確認が不十分） 	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所及び一時避難所への避難経路の確認 個人・地域での避難先とルートの重要性の周知を務める。 防災訓練等の実施と、近所の互助の啓発活動を行う 日頃からの声掛けと近所付き合い 	
	いみちでつながる明る	その他	地域活動への理解と役員の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> 自治会及び子ども会への未加入と退会者の増加 地域活動や学校活動に参加する人が減少傾向にある 地域団体総じて役員のなり手不足 役員の負担が大きい 転入世帯の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体の活動を啓発する 行事・イベント等を見直し、団体の理解とやりがい・魅力を伝える。 幅広い世代に情報発信、人材発掘とリーダーの育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 校区社協活動の周知（社協だより等） 住民同士が気軽に集えるイベントの開催 多世代が集える校区催事の開催 ゴミステーションの表示の徹底と不法投棄対策 ふれあい収集と連携した取組み 民生委員協力員の活用
			住民同士の交流と環境（ゴミの問題等）	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの近所付き合いの希薄化 ゴミ出しルールが徹底されていない 高齢者にはステーションが遠い 	<ul style="list-style-type: none"> 新旧住民の交流・理解を深める ゴミ出しルールの啓発と情報を周知 	